

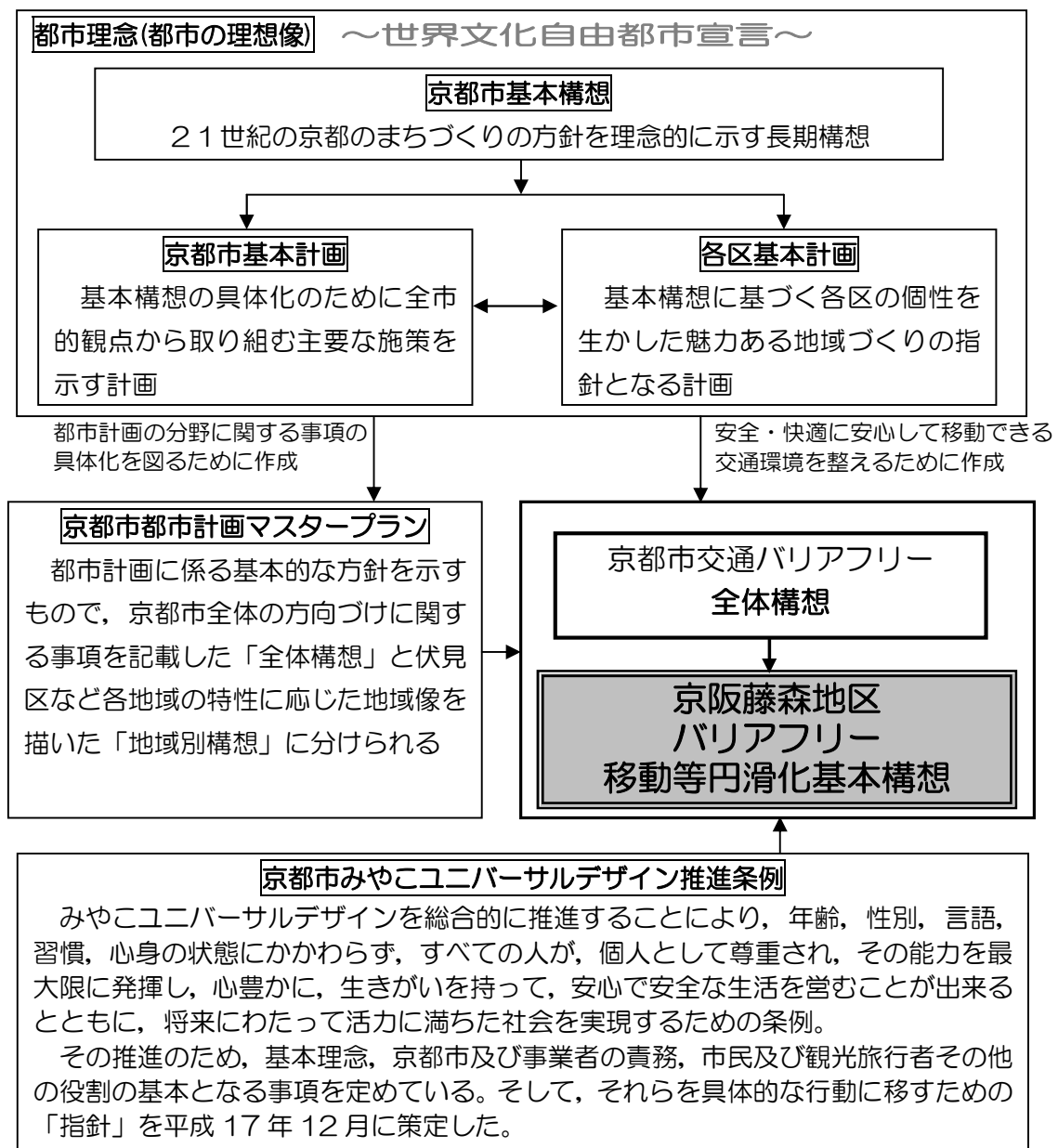
第3章 京阪藤森地区のまちづくりの方向性

京阪藤森地区基本構想は、京都市基本計画や京都市都市計画マスタープランなどの京都市の上位計画に掲げられている“バリアフリーのまちづくり”の一環として位置付けられるものであり、地区の特性やまちづくりの方向性にも十分配慮した内容とすることが必要となります。

このことから、京阪藤森地区基本構想を策定するに当たり、京都市の上位計画における伏見区のまちづくりの方向性を踏まえたうえで、京阪藤森地区のまちづくりの方向性を整理することとします。また、京都市のユニバーサルデザインの考え方の基本的な方向性を、京阪藤森地区基本構想においても反映させていきます。

1 上位計画・関連計画の構成

図-8 上位計画・関連計画の構成



2 伏見区のまちづくりの方向性

京都市では、都市理念を踏まえた京都市基本構想を受けて、京都市基本計画が策定されています。さらに、各行政区でこの京都市基本構想に基づいて、各区の個性を活かしたまちづくりの計画を策定しています。また、都市計画に係る基本的な方針を示す京都市都市計画マスタープランにおいても地域別構想として各地域の地域像を示しています。

京阪藤森地区が含まれる伏見区基本計画と京都市都市計画マスタープランの地域別構想を整理し、伏見区のまちづくりの方向性を示します。

○伏見区基本計画

伏見区基本計画では、将来像である「水と緑と温もりでひらく都市—伏見」の実現に向けた以下のまちづくりの取組目標を掲げています。

- ① 環境にやさしい・行動するまち
- ② 自然と歴史がいきづく個性と魅力のあるまち
- ③ 『伏見力』を活かすまち
- ④ ふれあいと温もりのある、健康でいきいきと暮らせるまち
- ⑤ 安心・安全、人にやさしい便利なまち

○京都市都市計画マスタープラン（地域別構想）

京都市都市計画マスタープランの地域別構想においては、伏見区のまちづくりについて以下の4つの目標を掲げています。

- ① 都市居住からみた目標
基盤が整い、優れた居住環境を備えたまちをつくる
- ② 都市活動からみた目標
新産業を生み出し、京都の新しい活力を支えるまちをつくる
- ③ 都市環境からみた目標
個性ある歴史と豊かな水辺環境の調和したまちをつくる
- ④ 都市交通からみた目標
多様な都市活動を支える交通基盤の整ったまちをつくる

3 京阪藤森地区のまちづくりの方向性

上位計画に示されている伏見区のまちづくりの方向性を踏まえ、京阪藤森地区のバリアフリー化を推進していくに当たって配慮すべき京阪藤森地区のまちづくりの方向性を以下のように整理します。

伏見区の将来像

「水と緑と温もりでひらく都市・伏見」

(1) だれもが安心・安全・快適に生活できるまちづくりの推進

高齢者や障害のある方を含むすべての人々が安心・安全・快適に生活し、深草西浦南公園をはじめとする地域の公園への散歩や買い物などにも気兼ねなく出かけられ、地域の集まりや催し物にも参加できるといった、自らの意思で自由に行動ができる“快適に生活できるまちづくり”を推進します。

(2) 居住者や来訪者が快適に利用できるまちづくりの推進

京阪藤森地区には、深草総合庁舎等の官公庁施設や京都医療センターなどの大規模医療施設、青少年科学センターや京エコロジーセンター等の教育施設などが立地しており、この地区に来訪する人やこの地区で生活する人にとって、安全で快適に安心して移動し、駅や公共施設を利用できる環境を形成するため、周辺の道路環境を整えるとともに、快適で使いやすい施設整備を推進します。

(3) ふれあいと温もりのあるまちづくりの推進

地域で育まれているコミュニティを活かし、地域の住民だけでなく京阪藤森地区を訪れる高齢者や障害のある方などへの理解を深めるとともに、手助けなどの協力を地域ぐるみで行えるまちづくりを推進し、訪れる人々も温もりを感じることでできるまちづくりを推進します。